平成 30 年度第 3 回契約監視委員会議事概要

日 時：平成 31 年 3 月 14 日（木）10：00～12：00

場 所：理化学研究所 東京連絡事務所

出席者：委 員 江戸川 泰路（EY 新日本有限責任監査法人 企業成長サポート室 パートナー、
公認会計士）

委 員 辻 純一郎（J&T 治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員、
EPS ホールディングス(株)社外監査役）

委 員 野元 学二（レックスウェル法律特許事務所 弁護士）

委 員 石井 康彦（国立研究開発法人理化学研究所 監事）

委 員 松尾 康博（国立研究開発法人理化学研究所 監事）

説明者等 横浜事業所 研究支援部 契約課 延課長 有田副主幹、青山課員
神戸事業所 神戸事業所研究支援部経理課 黒田課長、原田嘱託職員、門前嘱託職員
総合防災・減災研究チーム 大石チームリーダー、大谷研究員、堀、村木、大
森
大阪研究支援課 大塚副主幹
細胞システム制御学研究ユニット キム スヨン基礎科学特別研究員
契約業務部 木村契約第 1 課長 中村契約第 2 課長、薄葉副主幹 山下副主幹、工藤
副主幹、石川特別嘱託職員
外部資金室 駒井調査役、吉良主査
戎崎計算宇宙物理研究室 戎崎主任研究員
播磨事業所 研究支援部 契約課 岩下課長

事務局 監事・監査室 村上室長 日紫喜室員

議事概要：

1. 『超音波診断画像のアノテーションツール開発』について

前回の委員会に引き続いて討議した。前回の委員会終了後委員から寄せられた質問に対しての回答のやりとりの内容及び契約審査委員会での審議プロセスについて確認を行った。公正の観点から、契約審査委員会での検討がきちんとなされていたか疑問が残る。次の点についての留意が必要ではないかとのコンセンサスを得た。

- 1) 協定書の条項を細かくチェックし、問題があれば、その段階で契約審査委員会にかけるべきではないか。
- 2) 調達の決裁プロセスについて、契約審査委員会にかけるに当たり、①随意契約にしなければいけない理由について、具体的なエビデンスを示すこと。②他社の参入の可能性を考えて、比較検討すること。

2. 平成 30 年度第 2、第 3 四半期締結の契約点検（リスト点検）

平成 30 年度第 2、第四半期に締結にした契約 1,206 件の一覧表についてのリスト点検を行った。

3. 平成 30 年度第 2、第 3 四半期締結の契約点検（個別点検）

平成 30 年度第 2、第 3 四半期に締結した契約の一覧表から委員が選定した、本部及び 3 事業所 1 研究支援課 5 案件（一般競争契約 3 件（役務 2 件、物品 1 件）、不落随意契約 1 件（役務）、競争性のない随意契約 1 件（役務）について、予定価格の立て方、入札に至るまでのプロセスを丁寧に検証した。抽出したこれらの案件は、落札率が 100%の案件、高額契約案件、一者応札案件等である。今後も同様に調達の実績を上げていくことを要望するとともに、再委託する際の金額の透明性を高める努力をすること、代理店間の競争を促す取り組みをする中で、値引きの際には、十分に下げたというエビデンスを添えるべきではないかとの意見があった。

4. その他報告事項

1) 本部事務棟整備等事業（PFI）について

PFI 方式による事務棟建設について、契約業務部契約第 2 課より説明がなされた。入札に係る説明会について、リニア 中央新幹線の建設工事を巡る入札 談合 事件により指名停止を受けていた大手 4 建設会社が指名停止の時期と重なってしまい参加することが出来なかった。この点、公平・公正の観点から説明責任を果たすようにとの意見があった。

5. 次年度第 1 回契約監視委員会開催について

次回の 2019 年度第 1 回委員会は、2019 年 6 月 11 日（火）に行うこととした。

以上